

69-1	病床回転数（一般病床）	回数	年間	23.98	22.71	26.97	27.3	29.25
	各年度１年間の、一般病床における病床回転数です。以下の式で算出します。 病床回転数＝（３６５÷平均在院日数）×（病床稼働率（％）÷１００）							
69-2	病床回転数（精神病床）	回数	年間	3.85	4.25	4.78	5.97	5.24
	各年度１年間の、精神病床における病床回転数です。以下の式で算出します。 病床回転数＝（３６５÷平均在院日数）×（病床稼働率（％）÷１００）							
69-3	病床回転数（結核病床）	回数	年間					
	各年度１年間の、結核病床における病床回転数です。以下の式で算出します。 病床回転数＝（３６５÷平均在院日数）×（病床稼働率（％）÷１００）							
70	紹介率（医科）	率（％）	年間	109.65	111.44	100.48	99.3	101.89
	各年度１年間の、医科診療科（歯科系および歯科口腔外科を除く診療科）の紹介率です。以下の式で算出します。 紹介率＝（紹介患者数＋救急車搬入患者数）÷初診患者数×１００							
71	逆紹介率（医科）	率（％）	年間	84.58	90.23	87.96	88.01	88.79
	各年度１年間の、医科診療科（歯科系および歯科口腔外科を除く診療科）の逆紹介率です。以下の式で算出します。 逆紹介率＝逆紹介患者数÷初診患者数×１００							
72	一般病棟の重症度、医療・看護必要度Ⅰ	割合（％）	4～9月					
	一般病棟の重症度、医療・看護必要度Ⅰ	割合（％）	10～3月					
	一般病棟の重症度、医療・看護必要度です。以下の式で算出します。 （該当患者延数）÷（一般病棟在院患者延数） なお、平成30年度診療報酬改定より重症度、医療・看護必要度ⅠとⅡに評価方法が分かれました。							
72-2	一般病棟の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	割合（％）	4～9月	29.20	29.50	30.2	29.5	29.40
	一般病棟の重症度、医療・看護必要度Ⅱ	割合（％）	10～3月	28.60	29.40	31.3	29.4	28.60
	一般病棟の重症度、医療・看護必要度です。以下の式で算出します。 （該当患者延数）÷（一般病棟在院患者延数）							
73	後発医薬品使用率（数量ベース）	率（％）	年間	81.4	84	84.6	85.70	87.00
	令和４年１０月１日～令和５年９月３０日の１年間の入院における後発医薬品使用率です。以下の式で算出します。 後発医薬品使用率＝（後発医薬品使用数量÷後発医薬品切替可能数量（※））×１００ （※）後発医薬品切替可能数量＝後発医薬品のある先発医薬品の使用数量＋後発医薬品の使用数量							
74	現金収支率（病院セグメント）	率（％）	年間	100.10	100.90	104.26	101.70	101.10
	各年度１年間の、現金収支率です。決算時に文部科学省へ提出する補足資料様式７「令和５年度収入・支出決算額調査」のうち「附属病院セグメント」に記載した値から算出します。 現金収支率（病院セグメント）＝（収入金額（※１）÷支出金額（※２））×１００ （※１）収入金額＝前年度繰越計＋収入計－期末目的積立金等 （※２）支出金額＝支出計＋期末運営費交付金債務＋引当金増減額							
75	業務損益収支率（病院セグメント）	率（％）	年間	97.74	100.17	104.26	99.65	95.27
	各年度１年間の、業務損益収支率です。財務諸表（損益計算書）の経常収益、経常費用から算出します。（別院がある病院については、別院も含みます。） 業務損益収支率＝（経常収益÷経常費用）×１００							
76	債務償還経費占有率	率（％）	年間	3.52	4.34	3.37	3.39	4.41
	各年度１年間の、債務償還経費占有率です。以下の式で算出します。下記のa＋b a：（施設整備債務償還経費（PFI活用も含む）÷診療報酬請求金額）×１００ b：（設備整備債務償還経費（PFI活用も含む）÷診療報酬請求金額）×１００							
77	院外処方せん発行率	率（％）	年間	91.10	97.20	97.00	97.20	97.60
	各年度１年間の、院外処方せん発行率です。以下の式で算出します。 院外処方せん発行率＝（外来処方せん枚数（院外））÷（外来処方せん枚数（院外）＋外来処方せん枚数（院内））×１００							

